

その部屋、何年使いますか？

限られた敷地に、限られた予算で住まいを建てる場合、必要な部屋とそうでない部屋、スペースのメリハリがその後を快適に暮らしていくための大事な要素になります。

この間取りは、夫婦と子ども2人の4人家族を想定した、ごく標準的な住まいです。家族にとって、必要なものとそうでないもの、広くしたいスペースと狭くても構わないスペースを考えてみてください。

和室
親や友人が泊まりに来るときには便利ですが、それはリビングではできないことですか？また、そんな時はみんな揃って温泉などへ行った方が楽しくはないですか？普段使わない部屋は、いずれ物置と化し、本来の目的を果たせない場合があります。

浴室
大きな浴槽は上下水道料金を跳ね上げますが、一日の終わりにリラックスできる無二の場所。ここさえ気に入ればあとは全て妥協できるかも。

キッチン
対面式キッチンで見ることができるのは、家族の笑顔ではなく、テレビを見ている家族の背中です。

トイレ
住まいの中で最も使用頻度の高い場所がここです。配置は十分に検討を。

リビング
仲の良い家族でも、いつも向かい合っているものではありません。同じ空間でも向き合わずに過ごせるような工夫があれば、個室に籠らず過ごせたりするものです。家具などで「多様に使える」空間を作れますか？

庭
庭木や植栽を植えることで、家族と一緒に汗を流せる場や、一人ゆっくりと過ごせるかけがえのない場所になるかも知れません。

カーポート
車は意外と大きいです。1台に必要なスペースは5×2.7m²（約8畳分）。2台分確保するのは至難の業。自動車の維持費から検討してみてください。

敷地面積：約52坪
延べ床面積：約38坪

標準的な住宅モデル

住まいの空間モデル
あなたにとって、住まいに最小限必要な部屋は？
機能は？

風呂 + WC + 台所

室-2 室-1

玄関？

増築？

車

(フラット35の融資対象住宅の場合)
住宅は、原則として2以上の居住室（家具等で仕切れる場合も可）、炊事室、便所、浴室（浴槽を設置したもの）があり、独立した生活を営むことができるものとします。床面積は70㎡以上（戸建て住宅などの場合）

※店舗付き住宅などの併用住宅の場合は、住宅部分が対象となります。
※住宅の床面積は、車庫、バルコニー、共用部分（共同住宅の場合）などの床面積を除きます。

収納
家族の収納、個人の収納、キッチンの収納。どれだけ確保すれば良いでしょうか。不思議なもので、収納スペースがあればあるほどモノが増えるという事態が起こります。収納は「どのようなライフスタイルを選択するか」から検討してください。

子ども部屋
「自分だけのスペース」は子どもにとって必要な場所です。しかし、自分が子どもの頃を思い出してください。そして両親や先輩に聞いてみてください。何歳まで親と同じ寝室で寝ましたか？どれくらいの時間を自室で過ごしましたか？勉強はどこでしましたか？もしかすると使うのはわずか5～6年のことかも知れません。

書斎
物置になりやすいスペースの一つ。喫茶店や図書館では代わりになりませんか？

階段
段の高さと幅は上り下りの快適さや怪我の防止に直結します。角度は緩やかに。事故の起こりやすい場所の一つです。